



Golden Friendship, Golden Opportunities
輝ける友情 輝ける機会

ASEANと日本

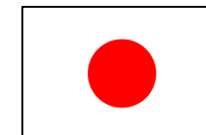
－友好協力50周年から未来に向けて－



日本インドネシア協会月例講演会（オンライン）

2023年1月26日（2月7日に一部更新）

ASEAN代表部大使 紀谷昌彦



お伝えしたいこと

- 1．はじめに：今なぜASEANか
- 2．ASEANとは何か
- 3．日本とASEANの関係はどう発展してきたか
- 4．ASEAN議長国インドネシアの優先課題は何か
- 5．日本ASEAN友好協力50周年をどう生かせるか
- 6．おわりに：ASEANと日本の未来をどう創るか

1. はじめに：今なぜASEANか

- 戦略的要衝

地理的に近接。シーレーンの要衝。海洋国家の日本にとって戦略的に重要。「自由で開かれたインド太平洋」の要（「インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）」を2019年に発表）。東アジア地域協力の中心。

- 成長する経済

日本企業の製造拠点。6.7億人の人口を抱える成長する消費市場としても有望（世界の成長センター）。エネルギー、デジタル等新課題への挑戦の場。

- 深い絆

「心と心のふれ合い」。50年以上にわたる協力・交流と信頼関係の基盤。2012年からASEANは日本人の最大の訪問先。ASEANからの来訪者も訪日客の約20%。



東アジア首脳会議（EAS）（2022年11月13日、於プノンペン）（出典：内閣広報室）

2. ASEANとは何か（①設立と加盟国拡大）

1967年に**バンコク宣言**で設立（インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・シンガポールの5か国、**ASEAN5**）。

1984年にブルネイが加盟。

1995年にベトナム、1997年にラオス・ミャンマー、1999年にカンボジアが加盟（＝インドシナ半島へ拡大）し10か国（**ASEAN10**）に。

2011年に東ティモールが加盟申請、2022年にオブザーバー参加決定。



ASEAN 5 か国外相によるバンコク宣言署名（1967年8月8日）（出典：ASEAN事務局）

2. ASEANとは何か（②共同体の深化）

1976年に第1回ASEAN首脳会議開催（バリ）、東南アジア友好協力条約（TAC）・ASEAN協和宣言採択、ASEAN事務局設置。

1992年にASEAN自由貿易地域（AFTA）創設。

2003年にASEAN第二協和宣言採択（2020年までのASEAN共同体設立提唱）。

2007年にASEAN共同体設立を2015年に前倒し、ASEAN憲章調印、2008年発効。

2009年にASEAN共同体に向けたロードマップ（2009～15）採択。

2010年にASEAN連結性マスタープラン（MPAC）採択、2016年にMPAC2025採択。

2012年にRCEP交渉立ち上げ、2020年署名、2022年発効。

2015年にASEAN共同体発足、ASEAN共同体ビジョン2025及びブループリント（2016～25）採択。

2017年にASEAN設立50周年。

2019年にインド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）採択。

THE ASEAN CHARTER

CHARTER OF THE ASSOCIATION OF SOUTHEAST NATIONS

PREAMBLE

***WE, THE PEOPLES** of the Member States of the Association of Southeast Asian Nations (ASEAN), as represented by the Heads of State or Government of Brunei Darussalam, the Kingdom of Cambodia, the Republic of Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, the Union of Myanmar, the Republic of the Philippines, the Republic of Singapore, the Kingdom of Thailand and the Socialist Republic of Viet Nam:*

***NOTING** with satisfaction the significant achievements and expansion of ASEAN since its establishment in Bangkok through the promulgation of The ASEAN Declaration;*

ASEAN憲章 (2007年11月20日署名、2008年12月15日発効)

2. ASEANとは何か (③パートナーの拡大)

1994年からASEAN地域フォーラム (ARF) 開催 (広くアジア太平洋地域の外相が参加、北朝鮮・南アジア・EUを含む)。

1997年からASEAN+3首脳会議開催 (日・中・韓が参加)。

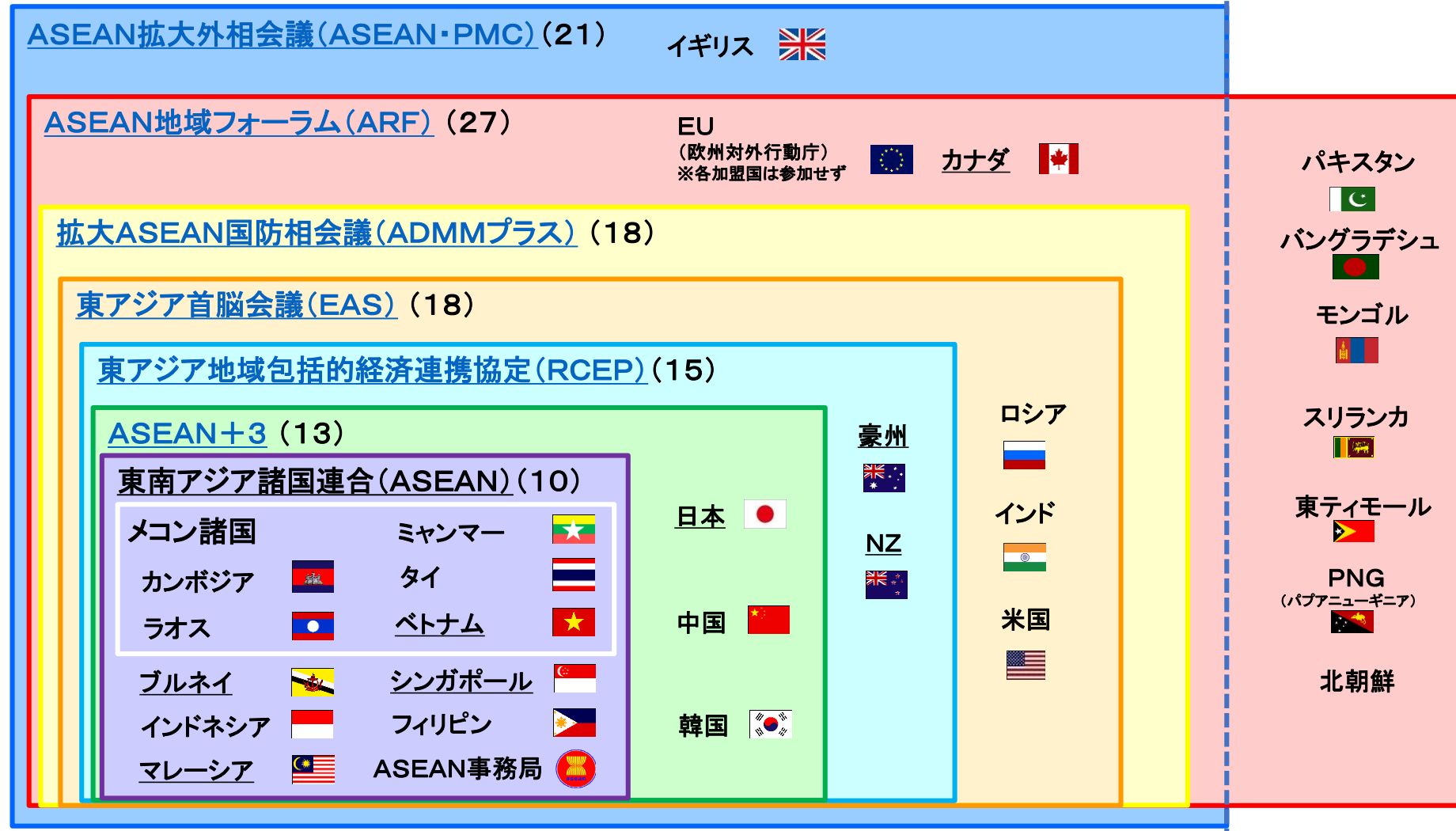
2005年から東アジア首脳会議 (EAS) 開催 (更に豪・NZ・印が参加)。2011年から米・露が参加。

2010年から拡大ASEAN国防大臣会議 (ADMM+) 開催 (EAS参加国国防大臣が参加)。

→ASEAN中心性：いずれもASEAN議長国が開催。

なお、1989年からAPEC閣僚会議、1993年からAPEC首脳会議開催 (ASEANのうちカンボジア・ラオス・ミャンマーは未加盟)。

参考：ASEANの主要枠組み



注1: ()内は参加している国・地域・機関の数

注2: 下線は環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(TPP11)参加国(その他の参加国はメキシコ、ペルー、チリ)

3. 日本とASEANの関係

- 1973年に合成ゴムフォーラム設置、日ASEAN関係が開始。
- 1977年に初の日ASEAN首脳会議開催（クアラルンプール）、福田ドクトリン表明（マニラ）。1978年に初の日ASEAN外相会議開催。
- 1981年に日本アセアンセンター設立。
- 1994年に第1回ASEAN地域フォーラム（ARF）開催。
- 1997年に第1回ASEAN+3首脳会議開催。
- 2003年に日ASEAN30周年特別首脳会議開催。
- 2004年に日本が東南アジア友好協力条約（TAC）に加盟。
- 2005年に第1回東アジア首脳会議（EAS）開催。
- 2006年に日ASEAN統合基金（JAIF）設置。2013年にJAIF2.0表明。
- 2008年に日ASEAN包括的経済連携協定（AJCEP）発効。ERIA設立。
- 2011年にASEAN日本政府代表部をジャカルタに開設。AMRO、AHAセンター設立。
- 2013年に日ASEAN40周年特別首脳会議開催。
- 2020年にASEAN感染症対策センター設立への全面的支援表明。
AOIP協力についての日ASEAN共同声明採択。

(福田ドクトリン)

第一に、わが国は、**平和に徹し軍事大国にならない**ことを決意しており、そのような立場から、東南アジアひいては世界の平和と繁栄に貢献する。

第二に、わが国は、東南アジアの国々との間に、政治、経済のみならず**社会、文化等、広範な分野**において、**真の友人として心と心のふれ合う相互信頼関係**を築き上げる。

第三に、わが国は、「**対等な協力者**」の立場に立って、ASEAN及びその加盟国の**連帯と強靱性強化の自主的努力**に対し、志を同じくする他の域外諸国とともに**積極的に協力**し、また、インドシナ諸国との間には相互理解に基づく関係の醸成をはかり、もって**東南アジア全域にわたる平和と繁栄の構築に寄与**する。



福田総理のマニラ演説（1977年8月17日）（出典：内閣広報室）

4. 議長国インドネシアの優先課題

- テーマ = ASEAN Matters: Epicentrum of Growth

ASEANや世界の人々のために、ASEAN 2045への準備、東南アジア・インド太平洋の平和と安定のためのASEAN中心性、国際組織犯罪対策とASEAN人権対話を強化。

ASEANを成長センターとし、食料・エネルギー安全保障、公衆衛生、金融安定化に向けての協力を強化。

- インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）の実施

平和で安定し、国際法を尊重し、包摂的協力を優先するインド太平洋は、ASEANが成長センターとなる鍵。AOIPの実施が議長国優先事項の「魂（spirit）」。

インド太平洋は安全保障のみならず包摂的経済開発の側面から取り組む必要。

ASEANインド太平洋フォーラム（創造的経済フォーラム、SDGのためのデジタル経済の青年会議、インフラフォーラム、ビジネス投資サミット）を主要行事として開催。

- ミャンマー

ルトノ外相を長とする特使室（Office of Special Envoy）を設置。

「5つのコンセンサス（5PC）」とASEAN憲章の基本的原則に基づく措置を実施。5PCと昨年11月のASEAN首脳会議決定に従い、全ての関係者（stakeholders）の関与を得て、国民対話の実現を促進。

ミャンマー問題がASEAN共同体の発展プロセスを阻害しないよう確保。



ルトノ・インドネシア外相の[年次外交演説](#)（2023年1月11日、於ジャカルタ）（出典：ルトノ外相Twitter）

(本年のASEAN関連会議の日程)

2月3-4日 ASEAN外相リトリート (ジャカルタ)

(4月16-18日 G7軽井沢外相会合)

5月9-11日 ASEAN首脳会議 (ASEANのみ) (ラブアンバジヨ)

(5月19-21日 G7広島サミット)

7月11-15日 ASEAN関連外相会議 (インドネシア)

9月4-7日 ASEAN関連首脳会議 (日本も出席) (ジャカルタ)

(9月9-10日、G20ニューデリー・サミット)

(11月12日の週 APECサンフランシスコ・サミット)

12月日処 日ASEAN特別首脳会議 (東京)

* この他、年間を通じて分野毎の日ASEAN閣僚会議等が各地で開催

7月 日ASEAN特別法務大臣会合 (東京)

8月 日ASEAN経済大臣会合 (バリ) 他

(出典 : [ASEAN2023年インドネシア議長国ウェブサイト](#))

5. 日本ASEAN50周年（①前例）

- 日ASEAN30周年特別首脳会議（2003年12月、於東京）

小泉総理とASEAN全首脳が出席（ASEAN全首脳の域外会議は初）。

日ASEAN東京宣言と行動計画を採択。政治・安保パートナーシップの強化・拡大、特別の関係の拡充で一致。共通の原則・価値を確認。東アジア・コミュニティ創設に向けての協力。人材育成・交流。メコン地域開発。

二国間経済連携交渉開始。東南アジア友好協力条約（TAC）締結の意図表明。

- 日ASEAN40周年特別首脳会議（2013年12月、於東京）

同年1月安倍総理は東南アジア外遊後に対ASEAN外交5原則を発表。

日ASEAN友好協力ビジョンステートメントと実施計画を採択。「平和と安定のパートナー」「繁栄のパートナー」「より良い暮らしのためのパートナー」「心と心のパートナー」の4つの柱。

文化のWAプロジェクト（200億円）、JENESYS2.0（7,300万ドル）、JAIF2.0に追加拠出（1億ドル）、ODAプレッジ（5年間で2兆円規模）。

- 日ASEAN50周年特別首脳会議（2023年12月日処、於東京／予定）！



日ASEAN40周年記念首脳会議（2013年12月14日、於東京）（出典：内閣広報室）

5. 日本ASEAN50周年（②方針その1）

・日経「アジアの未来」岸田総理スピーチ（2022年5月26日）

「来年、日ASEANは、友好協力50周年を迎えます。この機会に、日ASEAN関係を新たなステージに引き上げます。そのために、来年、新たな関係の方向性と協力のビジョンを、ASEAN各国の皆さんと共に、打ち出すことを目指します。私のビジョンを具体的に説明します」。

1. 「自由で開かれた地域」
2. 「持続可能で、力強く成長を続ける地域」
3. 「世界の課題解決に貢献する地域」

「こうしたビジョンの下で、我が国は、4つの具体的なアクションに取り組めます。自由で開かれた国際秩序の構築、平和秩序を守り抜くための協力、国境を超えた人的交流の活性化、共に社会課題を乗り越えるための関係強化の4つです。」

5. 日本ASEAN50周年（②方針その2）

・ シャングリラ・ダイアローグ岸田総理基調講演（2022年6月10日）

「私は、この地域の平和秩序を維持、強化していくため、次の5本柱からなる『**平和のための岸田ビジョン（Kishida Vision for Peace）**』を進め、日本の外交・安全保障面での役割を強化してまいります。第1が、ルールに基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化です。特に、『自由で開かれたインド太平洋』の新たな展開を進めます。」

「特に、ここインド太平洋においては、**ASEANとの協働が不可欠**です。」

「ODAを拡充するなど、外交的取組を強化し、従来のFOIP協力を拡充します。巡視艇供与や海上法執行能力強化、サイバー・セキュリティ、デジタル、グリーン、経済安全保障といった分野にも重点をおきつつ、FOIPというビジョンを更に推進していくための我が国の取組を強化する「**平和のための『自由で開かれたインド太平洋』プラン**」を来年春までに、お示しすることを表明します。」

5. 日本ASEAN50周年（②方針その3）

・日ASEAN首脳会議での岸田総理発言（2022年11月12日）

「日本は、ASEAN一体性・中心性を支え、『自由で開かれたインド太平洋』と本質的原則を共有するAOIPへの支持をいち早く表明した。2020年のAOIP協力に関する日ASEAN首脳共同声明以来、具体的な協力案件が計89件に上っている。」

「来年の日ASEAN友好協力50周年に向け、（1）海上交通安全等の海洋協力、（2）質の高いインフラ投資等の連結性支援、（3）ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを始めとした保健、気候変動対策、防災、（4）サプライチェーン強靱化、デジタル技術、食料安全保障の強化といった幅広い経済分野での協力を強化していく。」

「我が国の知見・経験を最大限活かして、『アジア・ゼロエミッション共同体構想』を実現していきたい。」

5. 日本ASEAN50周年（②方針その4）

・ ジョンス・ホプキンス大学岸田総理スピーチ（2023年1月13日）

「これからの課題について述べたいと思います。私が重要だと考えることは3つです。第1に、G7を中心とする同志国の結束の強化、第2に、いわゆるグローバルサウスと呼ばれる国々との関係、そして第3に、日米両国にとっても、最も中心的な課題である、中国との関係であります。」

「いかに我々が正しいと信じる途を歩んでいても、国際社会の重要なポジションを占めるグローバルサウスから背を向けられるようでは、我々自身がマイノリティとなり、多くの政策課題の解決はおぼつかないことになってしまいます。」

中でも、東南アジアは日本にとって最も近く重要な仲間たちであり、『自由で開かれたインド太平洋』（FOIP）と、『インド太平洋に関するASEANアウトルック』（AOIP）は共鳴しています。私は、近々、このFOIPのアップグレードを行います。また本年12月を目途に、東京で日ASEAN特別首脳会議を開催します。大きく変わる国際社会の中でも、日本と東南アジア諸国との関係がインド太平洋地域の平和と繁栄の中核的な要素であることを示していきたいと考えています。」



岸田総理の2022年～2023年のASEAN関連演説・会議（出典：内閣広報室）

5. 日本ASEAN50周年（③政府／官民連携）

- 日本ASEAN友好協力50周年有識者会議

昨年5月に内閣官房に設置（外務省が事務局）、累次研究会を開催（議事録・資料はウェブで公開）。

2月3日に報告書を内閣官房副長官に提出。

- 日本ASEAN友好協力50周年関係府省庁会議

本年2月7日に内閣官房に設置、特別首脳会議に向けて準備を推進。

- 日ASEAN経済共創シリーズ

昨年7月に検討委員会を設置（経産省・JETROが事務局）。

本年1月6日に中間整理を発表。夏に日ASEAN経済大臣会合に報告予定。

6月に日ASEANビジネスウィーク2023、12月にビジネスサミット、ヤング・ビジネスリーダーズサミット、Z世代サミットを開催予定。

- 一連の日ASEAN閣僚・首脳会議、特別首脳会議の開催

日ASEAN経済共創ビジョン 中間整理（全体概要）

はじめに ～日ASEAN友好協力50周年を機に、日ASEANの経済関係を振り返り、再定義する意義～

1. 日本とASEANの経済関係が大きく変化している
 - 日本がASEAN経済を牽引する雁行型経済の終焉と日本の「失われた30年」
 - ASEAN地域の台頭と世代交代
 2. コロナ禍、ウクライナ情勢に伴うエネルギー/食料安全保障、地政学的リスク等に伴う経済停滞、地球規模課題（SDGs）
 3. 雁行型発展からグローバルバリューチェーン（GVC）型の発展への変革の必要性
- これらの変化を踏まえ、日ASEANの経済関係を再定義し、日ASEAN双方で目指すべき大きな方向性を共有することが必要

～これからの50年を見据えたビジョン～

50年の友好協力を通じて培った“信頼”を原動力として、
安全で豊かで自由な経済社会を、公正で互恵的な経済共創で実現する

ビジョンを支える3つの基盤

経済成長と社会課題解決の
経験を共有する

地域の実状に向き合い、
多様性を尊重する

互恵的なイノベーションの担い手となる
人材の双方向の交流を進める

～経済共創の4つの柱～

多様性・包摂性を両立する持続可能な経済社会の実現

国境を越えたオープンイノベーションの推進

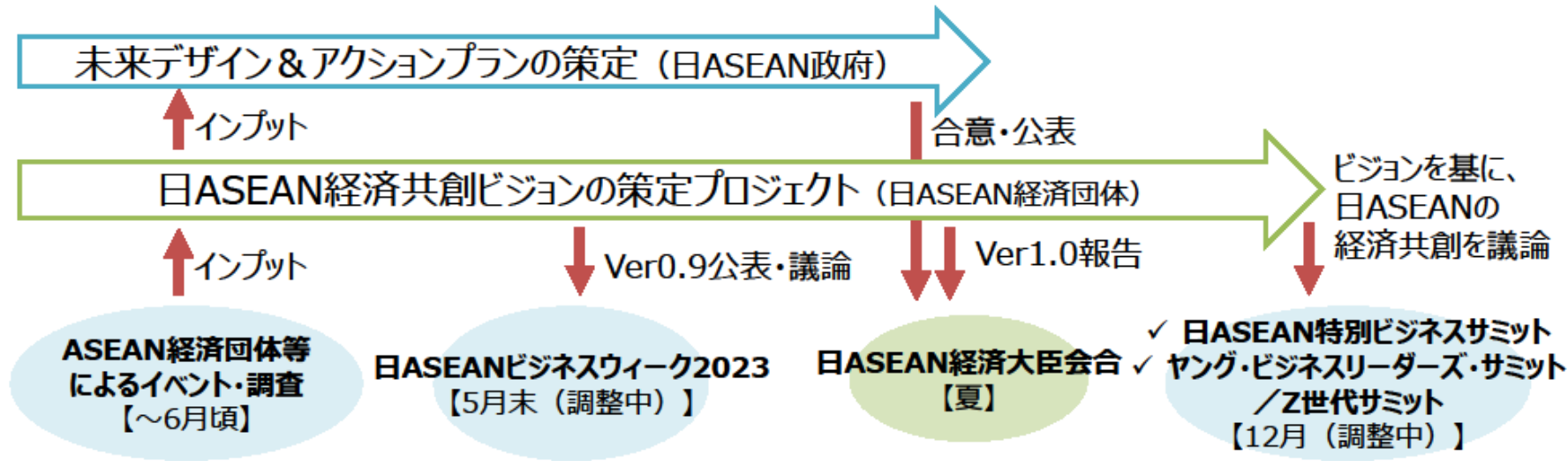
サイバー・フィジカルコネクティビティの強化

活力ある人的資本を共創するためのエコシステムの構築

ERIAの更なる活用

日ASEANの共創関係をグローバルで目指すべきモデルの一つとして示すとともに、
自由で公正で開かれた地域経済秩序の構築に貢献することを目指す

日ASEAN友好協力50周年（2023年） 日ASEAN経済共創シリーズ



イベント	概要
ASEAN経済団体等によるイベント・調査	✓ 2023年6月頃まで、ASEAN側経済界の経済共創ビジョンへのインプットの募集の仕組として、ASEANの経済団体等によるイベント開催や調査事業を日ASEAN経済産業協力委員会（AMEICC）事務局から補助。ASEAN経済界・学界等の参加者にて、日ASEAN経済共創等のテーマについてパネルディスカッション等を実施し、ビジョンへの提言レポートを作成・提出。
日ASEANビジネスウィーク2023	✓ 2023年5月頃、5日間にかけて、日ASEANの様々な協力事例・協力可能性・ビジネス機会等について日ASEANの産官学が集い、テーマ別に議論する。（※今年は3回目） ✓ 経済共創ビジョンを発表（調整中）。
日ASEAN特別ビジネスサミット	✓ 日ASEAN友好協力50周年を記念し、2023年12月の日ASEAN特別首脳会議のサイドイベントとして日本で開催。日ASEANの経済界のハイレベル、経済閣僚、アカデミアが参加。ネットワーキング、企業ブース設置等を実施（調整中）。 ✓ 日ASEAN経済共創ビジョンを踏まえた議論を実施。 ✓ 将来の日ASEANの経済関係の深化に向けて、ヤング・ビジネスリーダーズ・サミット、Z世代サミットを併せて開催（調整中）。

これらの取組と併せて、日ASEANの企業による協業を促進するための支援策等も予定。

（出典：経産省）

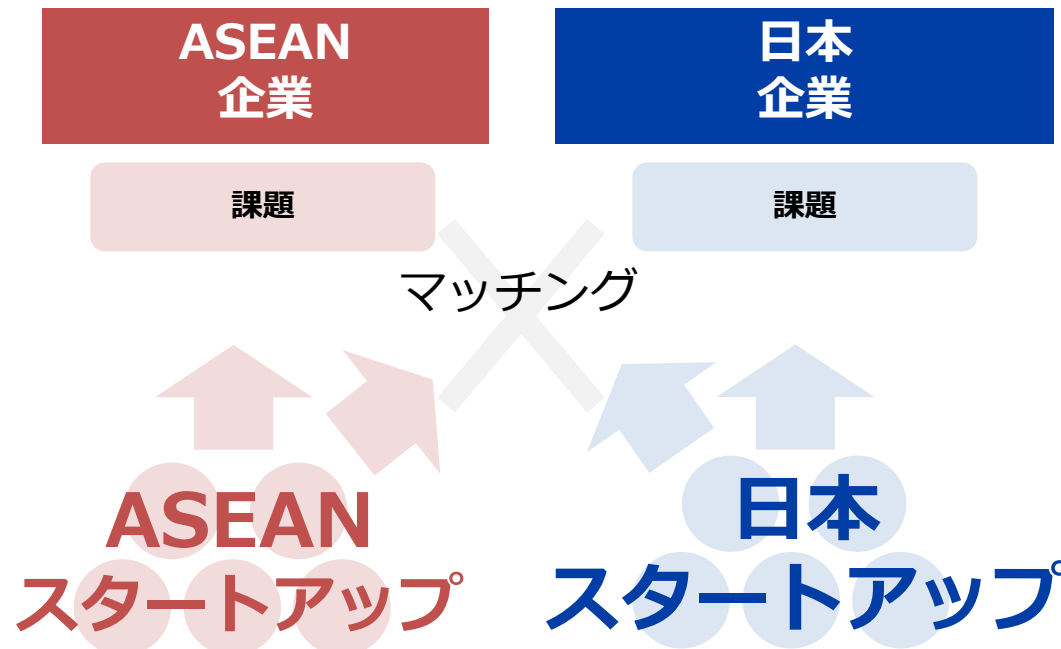
日ASEAN企業における共創エコシステム構築に向けた新たな取組 ～日ASEAN共創ファーストラック～

- 経済産業省とJETROは、日本とASEANの大企業とスタートアップ企業の連携を加速させる新しい取組（リバースピッチイベント）を立ち上げます。

ASEAN加盟国政府及び
関係機関



日本企業とASEAN企業の共創を支援・促進



日本とASEANのスタートアップが課題解決策を提案

日本及びASEANの業界をリードする大企業が、スタートアップと協働して解決したい「課題」を提示。

各課題の解決策を提供する日本とASEANのスタートアップ企業を公募。

良い提案をしたスタートアップは、リバースピッチイベントに招待され、直接解決策を提案。

※今年はASEANの4都市でハイブリッド形式のリバースピッチイベントを開催予定。

ASEAN加盟国政府とMETI/JETROがマッチングを促進し、連携をサポート。

5. 日本ASEAN50周年（④参画と発信）

- 日本ASEAN友好協力50周年のロゴとキャッチフレーズの決定

昨年8月4日の日ASEAN外相会議で日本とASEANの共同で[発表](#)。

「Golden Friendship, Golden Opportunities」 「輝ける友情 輝ける機会」

- 日本ASEAN友好協力50周年特設ウェブサイト

日本アセアンセンターが昨年12月26日に[公開](#)。

日本語・英語をはじめASEAN全言語に対応。

- 日本ASEAN友好協力50周年記念事業の実施と公募

幅広い関係者の皆様の参加・協力を得ながら、日本国内において日本ASEAN友好協力50周年を一層盛り上げる観点から、一連の「日本ASEAN友好協力50周年記念事業」を実施、幅広く[公募](#)。

記念事業の趣旨に合致する事業は、事業認定の申請手続きを経て、ロゴとキャッチフレーズを使用可。50周年特設ウェブサイトにも事業を掲載。



50th Year
ASEAN-Japan
Friendship and Cooperation

Golden Friendship, Golden Opportunities

輝ける友情 輝ける機会



日ASEAN友好協力50周年の[オフィシャルロゴ・キャッチフレーズ](#)と[特設ウェブサイト](#)

(50周年記念事業の例)

- 1月-8月 「Golden Bridge」 Instagram投稿キャンペーン
(1月～3月は「Golden Table」で各国自慢の料理を投稿)
- 2月13日 キックオフ・シンポジウム (ジャカルタ・ハイブリッド)
- 2月28日 ASEANビジネス&インベストメントセミナー
(バンコク・ハイブリッド)
- 3月16日 日本ASEAN友好協力50周年記念シンポジウム
(東京・ハイブリッド)
- 年内 (予定) パネル展示、ファン・ラン、スカベンジャーハント、
ジャカルタ日本祭り (JJM) との連携等 (ジャカルタ)
- その他、日本・ASEAN各国やオンライン・ハイブリッドで多数開催

← Ads by Google

Stop seeing this ad

Why this ad?

OPINION • ACADEMIA

Advancing the Fukuda Doctrine afresh



Banding together: ASEAN and Japanese leaders (from left to right) Philippine President Ferdinand Marcos Jr, Singaporean President Lee Hsien Loong, Thai Prime Minister Prayut Chan-o-cha, Vietnamese Prime Minister Pham Minh Chinh, Japanese Prime Minister Fumio Kishida, Cambodian Prime Minister Hun Sen, President Joko "Jokowi" Widodo, Brunei Sultan Hassanal Bolkiah, Laotian Prime Minister Phankham Viphavanh and Malaysian lower house speaker Azhar Azizan Harun wave on stage during the ASEAN-Japan Summit as part of the 40th and 41st ASEAN Summits in Phnom Penh on Nov. 12, 2022. (AFP/Nhac Nguyen)

Share this article

Kenji Kanasugi and Masahiko Kiya (The Jakarta Post)

Jakarta • Sat, January 21, 2023

Whatsapp

Facebook

Twitter



After Indonesia led the Group of 20 Summit to great success last year, the *Financial Times* praised the country as an "overlooked giant" and *The Economist* published the feature: "Why Indonesia matters".

Most Viewed

- 01 Race on to replace Ardern as New Zealand prime minister
- 02 Advancing the Fukuda Doctrine afresh
- 03 Australian park rangers say 'Toadzilla' could be world's biggest toad
- 04 Chinese-Indonesians rejoice as Chinese New Year festivities return
- 05 Indonesia receives \$103.65 million climate change, biodiversity fund
- 06 New Zealand's next PM led COVID-19 crackdown
- 07 Chinese New Year means empathy, sensitivity
- 08 Easy to blame China for the deadly riots at Morowali nickel plant
- 09 Agency warns of tidal flooding at 26 beaches across Bali
- 10 Axelsen downs Jonatan Christie to storm into India Open final

Ad covered content

Seen this ad multiple times

Not interested in this ad

Already bought this

金杉駐インドネシア大使と紀谷ASEAN代表部大使のジャカルタポスト紙共同寄稿（2023年1月21日付）

6. おわりに：ASEANと日本の未来を創る

- 世界を動かすのは、「トップダウン」と「ボトムアップ」。
→首脳会議の機会を活用して、一人ひとりが今ここから行動する。
- 日本と日本人が改めてASEANという「鏡」と向き合うことから始まる。
→自分の強みとASEANの強みを知り、共通の課題への解決を共創する。
- 日本とASEANの協力で、インド太平洋地域と世界を変える。
→グローバルな課題への解決を地域と世界にスケールアップする。
- 「心と心のふれ合い」を次の世代につなぐ。
→日本とASEANの未来の担い手を創る。

連絡先・情報入手先

紀谷昌彦（きやまさひこ）

masahiko.kiya@mofa.go.jp

大使Twitter

https://twitter.com/amb_japan_asean

代表部Facebook

<https://www.facebook.com/japanmissiontoasean>

代表部Instagram

<https://www.instagram.com/japanmissiontoasean/>

代表部ウェブサイト

https://www.asean.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

